令和７年春季全国柔道高段者大会



試合場全景

春季全国柔道高段者大会が２０２５（令和７）年５月18日（日）午前９時半から講道館大阪国際柔道センターにおいて初めて開催された。昨年10月から当館ＨＰや機関誌等で周知の通り、今年度から全国柔道高段者大会は東京と大阪での年２回開催となり、今回初めて大阪が会場となった。開会式では、大会会長の上村春樹講道館長から「皆さんおはようございます。春季全国高段者大会を本日講道館大阪国際柔道センターで開催することになりました。今回の大会には400名を超す申込みがあり大変嬉しく思います。今日出場される皆さんは、平素は指導的立場の方々ですが、今日は自ら試合をするわけですので、どうか後進の手本となる様、我々の目指す柔道である『礼節を重んじ、立派な態度で、正しく組んで、理に適った技で「一本」を取る柔道』を実践し、正々堂々立派な

試合を展開することを期待します。どうか怪我の無きよう頑張って下さい」との挨拶があった。

その後、特別昇段表彰に移り、今年4月に横浜武道館で開催された第40回皇后盃全日本女子柔道選手権大会で優勝し、女子四段から女子五段に特別昇段した田中伶奈選手（大阪府警）へ、上村館長から段証書が授与された。開会式終了後、9時40分から試合が開始された。

参加者は385名（内訳は、五段215名、六段112名、七段44名、八段4名、女子10名）、2試合場で試合が行われ、段位と人数に応じて受付、入場、準備運動、試合の時間を分け、限られたスペースを有効に使用し、かつ混雑を防いだ。閉会式は午後5時45分に行われ、全日程が無事に終了した。

▼五段の部

前半

▽第1試合場

西尾　裕悟（大阪）　合せ技○　佐々木貴大（兵庫）
由留木俊之（大阪）　引分　田中　嘉朗（大阪）
高嶋　卓也（福井）　引分　倉橋　功（大阪）
髙橋　章人（三重）　引分　山本金太郎（東京）
山本　雄介（東京）　㊀優勢勝　小埜　智也（大阪）
矢吹　和久（岡山）　引分　村上　亮（大阪）
福永　匡洋（愛知）　袈裟固○　安田　翔太（大阪）
畠山　将京（東京）　背負投○　中村　剛教（大阪）
佐伯　健吾（兵庫）　合せ技○　鈴木　祥司（愛知）
朝比奈竜太郎（大阪）　㊁（注　意）　澤田　拓也（愛知）
蛯谷　和陽（富山）　引分　堀　雄太（大阪）
風間　孝幸（千葉）　引分　吉野　徹（岐阜）
一二三力延（東京）　引分　甲斐　宗紘（大阪）
川瀬　孝司（大阪）　○袖釣込腰　佐藤　公則（山形）
内門　卓也（大阪）　引分　窪田　友樹（岐阜）
内野　寛和（京都）　引分　渡辺　和也（群馬）
山口　陽平（大阪）　○内股　藤原　修一（千葉）

村井　栄輔（大阪）　引分　松原　誠（富山）
川原　良太（岐阜）　引分　細野　剛史（愛知）
梶原　大輔（静岡）　㊁（注　意）　桐原　幹（神奈川）
岡本　航（大阪）　引分　鈴木　道臣（愛知）
濱野　太郎（千葉）　合せ技○　大谷　裕明（大阪）
鈴木康太郎（東京）　引分　中島　健志（愛知）
大門　義明（奈良）　引分　神谷　宗幸（愛知）
酒元　修平（石川）　引分　表原　宏和（大阪）
若林　俊輔（長野）　引分　重光　康之（東京）
宮田　聡（千葉）　○合せ技　設楽　和成（北海道）
酒井　剛（大阪）　谷落○　丘　敏杰（東京）

▽第2試合場

大山　隆弘（香川）　引分　布施　誠（滋賀）
北野　将章（兵庫）　○小外刈　増岡　直樹（静岡）
車谷　雄貴（大阪）　○体落　鈴木　達也（愛知）
篠塚　貴志（神奈川）　○大外刈　岩村　一成（大阪）
渡辺　匡人（山形）　引分　岩田　浩樹（兵庫）
丹羽　十堂（愛知）　引分　大前　圭治（兵庫）
有馬　直人（愛知）　㊀優勢勝　遠藤匡一朗（東京）
竹森　誠也（東京）　引分　藤田　修平（兵庫）
大浴　祥吾（山口）　引分　本田洋一郎（静岡）

宇野　明（静岡）　引分　柳　英俊（兵庫）
鈴木健太郎（愛知）　小内刈○　田中　秀昌（神奈川）
阪本　泰大（兵庫）　引分　白井　裕倫（愛知）
平井　幹久（岐阜）　引分　大森　秀吉（東京）
山崎　洋一（神奈川）　○横四方固　久保　伸爾（大阪）
新井　宏行（東京）　引分　羽生　裕司（愛知）
長橋　泰次（秋田）　引分　元井　竜一（東京）
奴賀　寿人（兵庫）　○小外刈　松下　嘉明（愛知）
上茂　裕也（大阪）　○棄権勝　岩田　智樹（兵庫）
柳澤　弘隆（愛知）　合せ技○　大鷲　俊平（千葉）
桑原　徹行（千葉）　大腰○　向井　真（愛知）
刈谷　国男（愛知）　引分　野沢　元（東京）
熊澤　誠（愛知）　引分　横井　健二（大阪）
森脇　政博（兵庫）　引分　中村　俊之（東京）
中嶋　芳規（富山）　崩袈裟固○　土井原　弘（石川）
早川　英一（愛知）　引分　山口　真司（大阪）
村上　武史（大阪）　○背負投　小野寺良洋（東京）
渕　佑介（千葉）　○腕挫十字固　前谷　守昭（香川）
山口　信二（大阪）　引分　西岡　将晴（北海道）
巻下　広史（福井）　引分　有留　秀宜（大阪）

後半

▽第1試合場

江尻　武志（神奈川）　引分　今泉　健（千葉）
勝目　直紀（奈良）　優勢勝㊀　大西　宏明（神奈川）
前田　慶太（千葉）　合せ技○　土川　一克（愛知）
役田　武（東京）　㊁（注　意）　高塚　剣（愛知）
岩田　茂久（岐阜）　引分　北村　健一（石川）
福山　猛久（愛知）　○送襟絞　塩山　優（大阪）
三木　浩史（福井）　○合せ技　廣田　清明（愛知）
山田　敏貴（愛知）　○内股　西濵　大志（埼玉）
林　伸幸（富山）　○内股　金谷　秀聡（兵庫）
小路　晃（富山）　○内股　桂　広知（愛知）
田中　隆雄（大阪）　支釣込足○　初鹿　良二（東京）
辻　喜紀（大阪）　○小外掛　田村　直文（千葉）
生方　純（群馬）　引分　坪田　謙一（富山）
藤田　俊治（岐阜）　引分　山野井幹正（神奈川）
奥村　和之（奈良）　一本背負投○　西尾　真治（東京）
水野　秀和（岐阜）　優勢勝㊁　石田　伸一（大阪）
鬼頭　良（愛知）　小外刈○　田中　敏通（島根）
金井　政史（兵庫）　○一本背負投　川野　真稔（東京）
森本　真夫（東京）　○支釣込足　森田　茂（岐阜）

▽第2試合場

三浦　和彦（岐阜）　㊁優勢勝　大下　実也（福井）
森下　英臣（愛知）　㊁優勢勝　岩城　康博（大阪）
髙橋　良尚（岐阜）　○縦四方固　山本　桂吾（富山）
平尾　裕一（大阪）　払腰○　竹内　洋二（島根）
木下　和也（千葉）　優勢勝㊁　池嶋　一男（奈良）
吉田　聡志（神奈川）　㊁優勢勝　和田　誠之（青森）
佐野　正実（愛知）　○一本背負投　三浦　寿文（大阪）
李・トミー（東京）　背負投○　松山　尚也（愛知）
今嶋　禄郎（大阪）　○内股　三浦　正（神奈川）
寺島　昭彦（神奈川）　○縦四方固　堀江　泰史（大阪）
坂巻　敏史（東京）　○横四方固　木下　朋俊（奈良）
市原　英夫（東京）　○後袈裟固　三木　章史（福井）
前田　法之（大阪）　○上四方固　南井　孝樹（東京）
奥野賢一郎（東京）　○小外刈　木村　康裕（北海道）
南　健一（石川）　○背負投　東邦　哲（東京）
倉田　昌浩（愛知）　優勢勝㊁　齋藤　真純（神奈川）
能村　耕司（神奈川）　㊁優勢勝　清本　英治（奈良）
佐子　知謙（東京）　㊁優勢勝　藤原　嘉伸（大阪）
太田由布樹（千葉）　○大内刈　古田　治久（愛知）
平野健太郎（千葉）　㊁優勢勝　秋山　正博（香川）

▼六段の部

▽第1試合場

瀧本　将弘（東京）　引分　伊藤　邦彦（愛知）
村林　有根（愛知）　引分　東郷　達郎（北海道）
松永　修（東京）　引分　三内　良明（京都）
吉田　保（東京）　○上四方固　杉本　裕昭（三重）
星野　寛（東京）　引分　片岡也崇志（埼玉）
尾鼻　康朗（奈良）　引分　宮田　安志（福島）
白岩不二男（福島）　上四方固○　高橋　緑（神奈川）
木元　献治（神奈川）　○大内刈　千田　達夫（福井）
中尾　陽三（大阪）　引分　武智伊知郎（東京）
土山　豪（大阪）　引分　松山　幸二（東京）
ウォリス・サイモン（東京）　○大内刈　野澤　和浩（大阪）
中村　勝彦（千葉）　合せ技○　三島　司朗

佐藤　和幸（愛知）　引分　千木良　建（大阪）
六車　武倫（香川）　引分　浦瀬　泰司（兵庫）
廣渡　真也（大阪）　引分　坂　毅（愛媛）
上林山太樹（大阪）　引分　加藤　光将（愛知）
吉田　優樹（兵庫）　○腕挫十字固　木島　大樹（東京）

中山　智史（岐阜）　引分　槙野　裕通（愛媛）
河野　大翼（大阪）　○送襟絞　鳥澤　暁（東京）
長田　康秀（福井）　引分　深川　裕之（愛知）
山田　篤（新潟）　引分　根本　将成（東京）
高野　将舟（千葉）　○肩固　合田　義弘（兵庫）
栗林　一孝（愛知）　引分　齊藤　修也（福井）
西川　悦史（愛知）　引分　栗原　正幸（東京）
権藤　利幸（大阪）　引分　鈴木　宏樹（愛知）
千品　洋一（東京）　横四方固○　町田　良介（京都）
丹波　千尋（和歌山）　○反則　吉田　宗興（兵庫）

高林　祐介（静岡）　袈裟固○　前瀧　大吾（東京）
福田　展樹（和歌山）　引分　谷落○　浦田　友和（大阪）
柘植　久嗣（愛知）　引分　長谷川　伸（岐阜）
乾　義昭（大阪）　引分　田伏　一晴（滋賀）
神谷　昌利（愛知）　㊀（注意）　大内　穣（東京）
弓矢　竜太（三重）　引分　坂口　明男（福井）
田村　伸也（愛知）　引分　加納　幸喜（東京）
中澤　竹馬（香川）　（注意）㊁　廣瀬　庸介（奈良）
三並　孝豪（岐阜）　○合せ技　長谷川　修二（東京）
関根　博未（東京）　㊁優勢勝　長嶋　太郎（静岡）



六段の部　熱戦の様子

▽第2試合場

高柳	依正	㊀（注意）	志賀	尊史	（東京）
青井	大	○足車	吉田	卓司	（千葉）
森山	博史	引分	清水	雄希	（三重）
今井	学	㊁（注意）	鈴木	大介	（大阪）
仲	淳治	引分	石黒	裕嗣	（愛知）
水谷	正人	引分	大角	康之	（京都）
本多	一也	引分	池	明広	（新潟）
加藤	年嗣	横四方固○	田中	眞寛	（兵庫）
冨田	昌義	引分	沖津	大悟	（東京）
三浦	武彦	優勢勝㊀	加藤	順一	（福島）
藤野	孝二	引分	池口恵二朗		（滋賀）
榊原	伝	引分	布田	英嗣	（神奈川）
下村	貴則	引分	梅田	宏行	（兵庫）
宮崎	英樹	合せ技○	小川	武樹	（神奈川）
寺園	昌之	引分	久家	浩	（埼玉）
川合	健一	㊀（注意）	前澤	一吉	（東京）
尾藤	博文	㊁（注意）	鍵山	裕久	（東京）
川波	徹	○大内刈	野村	剛史	（東京）
小梶	隆	引分	櫻木	康雄	（東京）
森	恒樹	㊁優勢勝	内山	直行	（千葉）

▼七段の部

▽第1試合場

中井	等	㊀優勢勝	ムニエ・ミッシェル		（東京）
伊藤	民雄	優勢勝㊁	松井	利夫	（島根）
山口	光男	引分	平井	敏雄	（兵庫）
桃井	幸雄	優勢勝㊀	鈴木	龍一	（山形）
北尾	浩	引分	遠山	信敬	（福井）
木下	勝巳	小外刈○	原	優	（東京）
南	一二	○合せ技	山下	豊	（石川）
添田	彰	㊀優勢勝	江頭	義信	（大阪）
北岡	和明	引分	梅村	豊作	（愛知）
山本	鉄雄	㊁優勢勝	アベド・カハル		（大阪）
川端	輝彦	○合せ技	菊川	義広	（奈良）
木村	展久	引分	林	弘典	（滋賀）
南波	利治	○一本背負投	山本	泰司	（千葉）
小山	昌規	○小外掛	河原	龍秀	（愛知）
瀬川	泰寛	引分	野本	大道	（愛知）
武村	雄太	○小外掛	川口	稔	（福井）
宮本	功三	㊁（注意）	杉山	元彦	（静岡）

▽第2試合場

堀越	英範	㊀優勢勝	下村	哲也	（福岡）
高波	善行	○横四方固	榎本	好根	（愛知）
宮本	和典	○内股	落合	伸美	（静岡）
夫馬喜久治		引分	森島	竜一	（岐阜）
國吉真登茂		合せ技○	対馬	勝美	（青森）
佐藤	暢孝	優勢勝㊁	小池	雅彦	（埼玉）
デユラント・キース		○崩上四方固	野村	正巳	（茨城）
勝見	藤一	引分	川内	豊幸	（愛知）
中山	章司	引分	吉田	篤生	（岐阜）
杉山	照夫	内股○	大塚	忠	（東京）
茂木	春喜	引分	大舘	将	（東京）
福島	英治	引分	片桐	清司	（滋賀）
田房	豊彦	○合せ技	松山	武敏	（愛知）
須長	悌治	引分	役田	英穂	（東京）
鈴木	常夫	引分	中村	太	（愛知）
岩本	誠治	引分	亀元	政志	（大阪）

▼八段の部

▽第1試合場

安東　鉄男（大分）　引　分　小林　茂夫（三重）
駒﨑　義一（千葉）　優勢勝㊀　内藤　純（栃木）

▼女子の部

▽第1試合場

女子四段

ソリドーワル・マーヤ（東京）　後袈裟固〇　磯川亜紀奈（大阪）

女子五段

鈴木　杏子（千葉）　引　分　舟木　千佳（東京）
中岡　美樹（兵庫）　〇合せ技　石田　桃子（愛知）

▽第2試合場

女子五段

齋藤　志織（東京）　引　分　松井　陽子（岐阜）

女子六段

萩原久美子（兵庫）　引　分　市橋寿々華（大阪）



女子の部　熱戦風景

▼技術優秀選手

▽五段の部（8名）

中村　剛教（大阪）　山口　陽平（大阪）
北野　将章（兵庫）　田中　秀昌（神奈川）
小路　晃（富山）　竹内　洋二（島根）
太田由布樹（千葉）　木元　献治（神奈川）

▽六段の部（4名）

浦田　友和（大阪）　青井　大（大阪）
川波　徹（奈良）　菊川　義広（奈良）

▽七段（2名）

小山　昌規（大阪）　デユラント・キース（東京）

▽女子の部（1名）

中岡　美樹（兵庫）

（講道館大阪国際柔道センター）

